

# スタッフ紹介

Interview

～「晶ちゃん」の巻～

「氣道のスタッフ」をもっと知りた～い☆☆コーナーです☆☆

インタビュアー：N.F.



今回は  
元気いっぱい!  
愛いっぱい!  
夢全開! な  
「晶<sup>(あき)</sup>ちゃん」こと  
永井 晶さんです。

## ●好きな場所や物は?

光がたくさん入って風がよく通って・・・緑が窓から見えるような cozy な場所が好きです。それと「土に返る」素材で丁寧に作られたもの。小谷田潤さんという方の陶器や大阪にある TRUCK という家具屋さんが作っている家具とか。それから自然農の仲間が作っているお米や野菜は、美しいなあ～好きだなあって思います。

## ●自然農?というのとは?

「丸ヶ崎自然農の会」っていうのに参加してます。持ち出したり、持ち込んだりしない。虫や草を敵としない。「ここ」にある生態系、その力に任せる。というものです。

“人間が幸せに生きるために本当に必要なものは何なの?” っていう問いがずっと自分にはあって。そういうことは、夫がイギリスに転勤になって一緒にいったときに明確に意識するようになりました。昔から変わらずにあるものや自然に誇りをもつ生き方にはすごく影響を受けました。帰国してマクロビオティックを始めたり、都会を離れたくて、移住先を探したり。お野菜も作ろう、とか。

世の中で「当たり前」と言われていることへの反発もあり、電化製品をなくしていき、貨幣経済に頼らないために、自分で物を作ってみたり。自給的な生活をしている人に会いに行ったり。

そんなことをやっていた数年間がありました。

いろんなものを削ぎ落した、シンプルな生活の中に美しさとか豊かさがある、自分の問いに対する答えがあると思って。

## ●ご自宅は自然で居心地がいい感じなんですか?

家は! 気持ちが良いです～!! とにかく物が無い。マンションをリフォームしたんですけど、なるべく自分たちでやろうと、夫と二人で無垢材の板をわんさか買ってきて柿渋を塗ったり、壁・天井を珪藻土で塗ったりしました。

本当は家も建ててみたい。いろんな物を自分の手に取り戻していきたいっていう思いはあります。

## ●ご主人も同じ考え方をされていて・・・

全然・・・あ、いやいやそうだと思います (笑)。

夫は経済バリバリの人で、私とは正反対なんだけど、良い意味でこだわりがないのだと思います。私が「こんなのがいい」とか言うと、それにアンテナを引っ掛けてくれる。私は、口だけで実際やっているのはほとんど彼だったりします (笑)。自然農も結局彼がやっています (笑)。

## ●そういうのにつきあってくれるっていいですね～。

(笑) 夫が一番のあそび友達ですね～。

## ●毎日はどんな感じなんですか?

今は福祉の仕事で週3日やりながら、あとは氣道で講座に参加したり誘導のお仕事をさせていただいたりしています。個人指導のご許可もいただいたので、今後は、氣道でのお仕事を増やせて行けたらと思っています。

お休みは自宅とか近くのカフェで本読んだり、とりとめもなく思い浮かんでくることをスケッチブックに書き留めたりして過ごすことが多いです。

時々、“森での自給的な生活”みたいなことへの思いに、わ——っと火がついて方々出かけにいたりすることも。

それから最近はまっているのは「ふんどし」作り。ふふふ～。締めてみると丹田にピツリ! するんです。収まる感じはふんどしが一番!

## ● 氣道との出会いは？

以前は自給生活にまっしぐらでした。マクロの先生が福島の山中の素敵なおところで生活をされていて・・・生活の半分はそっち、夫がいるので半分はこっちという生活を具体的に思い描いていたのです。で、いよいよ仕事も辞めて、新しい生活を始めようと準備していたときに大震災が起こって。結局、福島に行くのがダメになり・・・その中で、少し前に出会っていた氣道にどんどんはまっていきました。

「手」を使った仕事には、小さいときからずっとあこがれがありました。それでもここだということころには出会えないままだったんです。



私、前もって全部頭で設定してやらないと不安な人だったのです。でもそれがなんか違うというのとはどっかで感じていた。もっと、おっきな流れに乗って生きたい、っていう願望がすごくあった。それで、個人指導のカルテに「大いなるものと繋がって生きたい」と書いたんです。長谷川先生は「ん～ん、なるほどね～(微笑)」って(笑)。私、変な人だなんて思われたんだろうなって。受ける間も落ち着かず(笑)。それが初めての個人指導でした。

いろいろ学んでいると、自動運動がものすごく楽しくって、「こりゃー楽しい～！(笑)」って。

すぐに、ここで勉強してみたいって思うようになりました。

## ● 長谷川先生は？

すんごい人！でも、いつも・・・初々しい？いろいろな事を知っていながら、ニュートラルでいれるっていうか・・・すごい人なのにピュアな感じ・・・ステファンボディアンさんの本にある「無を体現している師」そのものだと思います。

あと、先生のピアノが好きです。勤行のとき先生のピアノを聴いて浮かんだ言葉が「偉大なる師」。そういう人に学べて、あ～幸せだなあ～、ありがたいな～って、思います。

## ● 幼少時代は？

小学生くらいまでは、自分が誰かを守らなきゃ、みたいなのが強かった。家族も、私がいないとバラバラになっちゃう、みたいな。そのせいか、今も子どもを見ると、幸せな苦勞してないかな、とか気になりますね。まあ、木登りとか川遊びとかしてましたけどね～(あっはっは)。だから元気だったとは思うけど、元気な反面、内面的にはいろいろ抱えている人だった。

子どもの笑顔のためにも、お母さんたちの幸せが何よりって思います。氣道はいろんな見方、応用の仕方ができるから、そういうことのためにも何かできないかなって、思ったりします。

## ● これから

結局、自給自足を志向した時に求めてたのは「自由」や「囚われからの解放」とかだったと思うんだけど、結局、囚われからは完全に逃れられなかった。

だけど、氣道を学ぶ中で今は、「自由」って「どんな状況でも幸せを感じる事のできる心と体と魂魄でいられること」なんじゃないかって、思うようになりました。そういう幸せの紡ぎ方とか、自由の得られ方とかがあるよ～、というのを、渡していける人になりたいと思うし、そのために勉強もしたいし、いろんな人たちと繋がっていききたい。

人生を・・・氣道ってやっぱり人生じゃないですか・・・そんなふうにして歩いていけたらな、と、思います。そして、愉氣を体現できる人でもありたい。そうあれたら嬉しいと思っています。

「氣道では、ほんとうに今今今。これからもきつと大丈夫だっていう確信が得られてます。本当にほんとうにありがたいです！」と、元気に語る晶ちゃん。

ドラマチックで抑揚があって、メロディアスだったり、ちょっとほろりとさせられたり大笑いさせられたり。

そんな交響曲のような、人間味溢れる「晶ちゃん」が心地良い空間でスケッチブックに綴ったイメージは、氣道HPの「スタッフブログ KUMUだより」上でちょくちょく読むことができます。

いよいよ個人指導もされるとのこと。

どんな素敵な指導をされるのか、楽しみですね。